

5 道徳教育

道徳教育は、学校の教育活動全体を通じて行うものであり、その目標は、教育基本法及び学校教育法に定められている教育の根本精神に基づき、人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことである。

各学校においては、道徳教育の全体計画を作成し、学校長の方針の下、道徳教育推進教師を中心に、全教職員が一体となって道徳教育を推進していただきたい。



(1) 全教育活動を通しての道徳教育の推進を

道徳教育の充実に向け、『特別の教科 道徳』（以下「道徳科」）はもとより、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて適切な指導に努めていただきたい。

また、学校の道徳教育の充実を図るためには、家庭や地域社会との連携・協力が重要であることから、家庭や地域との共通理解を深め、相互の連携を図ることに努めていただきたい。

《主な確認事項》

- ☐ 学校長の方針の下、道徳教育推進教師を中心として、全教職員による協力・指導体制が整えられているか。（全職員の参画・分担・協力）
- ☐ 児童生徒一人一人の道徳性を育むために、「教え育てる道徳教育」として、「日常的な生活場面を含むあらゆる教育活動」や「道徳科を中心とした活動」を相互に関連付けて指導しているか。
- ☐ 道徳教育の目標を達成するための方策が総合的に示された全体計画が作成されているか。
- ☐ 全教育活動を実質化させるために、自校化した別葉を作成し、活用しているか。
- ☐ 自校の道徳教育の重点を、別葉の作成や道徳科の年間指導計画作成に生かすことにより、重点を踏まえた道徳教育を展開しているか。
- ☐ 集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験活動などの豊かな体験活動を生かし、児童生徒の道徳性の育成を図るよう努めているか。
- ☐ 「栃木県道徳教育ハンドブック」（栃木県教育委員会）等を活用し、研修や指導改善に生かせるよう努めているか。
- ☐ 教師と児童生徒及び児童生徒相互の豊かな人間関係づくりに努めるとともに、児童生徒の道徳性を養うという視点で、環境の充実・整備に努めているか。
- ☐ 家庭や地域の教育力を生かした協力体制づくりを推進しているか。
- ☐ 道徳教育に関わる情報発信や道徳科の授業公開などにより、家庭・地域への啓発活動を推進しているか。

(2) 道徳科の充実を

各教育活動における道徳教育の要である道徳科の指導においては、児童生徒一人一人が道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して道徳性を養うという特質を十分考慮し、指導方法の工夫改善に努めていただきたい。

《主な確認事項》

- 【計画・実施】
 - ☐ 道徳教育の全体計画に基づき、各教科等との関連を考慮しながら、年間指導計画が作成されているか。
 - ☐ 各学年の年間指導計画や別葉において、重点内容項目の実施の回数や時期などを見直し、指導の重点化を図っているか。
 - ☐ 検定教科書を中心として、児童生徒、地域の実態に合った教材の選定、魅力的な教材の開発・活用、及び次年度に生かす教材の保管がされているか。
 - ☐ 児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子（学びの姿）を、多様な評価方法により継続的に把握し、蓄積することを通して、自らの指導を評価し、指導方法の改善に努めているか。
 - ☐ 改善事項等を年計等に朱書きするなどし、次年度の指導計画に反映できるようにしているか。
 - ☐ 校内研修等を実施し、道徳科の一層の充実にも努めているか。
- （授業研究会、小中間の授業公開、指導者の要請など）

【授業のねらい】

- 年間指導計画に示されている主題名とねらいに該当する内容項目について、**児童生徒の実態を基に把握し直し**、指導上の課題を具体的に捉えて指導をしているか。
- ねらいとする道徳的価値における他学年の指導との関連を把握しているか。
- 教材について、授業者が児童生徒に考えさせたい道徳的価値に関わる事項がどのように含まれているかを吟味しているか。

授業の前に押さえておきたいポイントです！



【指導過程の工夫】

- 導入では、本時の主題に関わる問題意識や教材の内容に興味や関心をもたせるなど、道徳的価値の理解を基に自己を見つめる動機付けが図られているか。
- 展開では、道徳的価値の自覚を深めさせているか。
 - (ア) 道徳的価値（価値理解、人間理解、他者理解）について理解する。
 - (イ) 道徳的価値を基に自己を見つめる。
 - (ウ) 自己の生き方についての考えを深める。
- 終末では、ねらいの根底にある道徳的価値に対する思いや考えをまとめたり、道徳的価値を実現することのよさや難しさを確認したりして、今後の発展につなぐ工夫がされているか。

【指導方法の工夫】

- 児童生徒が自分との関わりで道徳的価値を理解したり、自己を見つめたり、物事を多面的・多角的に考えたりするための思考や話し合いを深める発問となっているか。
- 自分の考えを書かせる場面を厳選しているか。
- 話し合いの形式（全体・ペア・グループ）の効果を吟味して取り入れているか。
- 児童生徒が学習の流れを振り返ったり、思考を深めたりする手掛かりとなるような板書の工夫が図られているか。

【道徳科の評価】

- 一人一人の児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価としているか。
- 信頼性や妥当性の高い評価となるよう、**評価の視点**や方法、蓄積の方法について、学校全体で共通理解を図っているか。

評価の視点

- 道徳的価値の理解に基づく学習活動において、児童生徒が一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか。
- 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか。

コラム



授業づくりに困ったら・・・

- ◇ 栃木県道徳教育ハンドブック
- ◇ 「**考え、議論する道徳**」の授業づくり
- ◇ **道徳教育アーカイブ**（文部科学省）

道徳教育アーカイブには、授業実践事例の動画があります。ぜひ、一度ご覧ください。



【主題：自分の心に正直に（正直、誠実）】授業者へのインタビュー映像より

教材を活用しながら、自分自身との関わりで考えられるようにするために、工夫したことは何ですか？



インタビューー



授業者

導入の場面で、「正直になれないこともあるな…でも、正直に言ったら怒られるかな…じゃあ正直ってどんなことなんだろう？」と自分自身の問題として捉えさせる工夫をしました。また、展開では…



続きはこちらから！

道徳教育アーカイブ

